

大学番号：016

注3

# 意見伺い（JD）

[平成29年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

筑波大学大学院 生命環境科学研究科  
国際連携持続環境科学専攻（国際連携専攻）

注2

## 【意見伺い（JD）】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 筑波大学  
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教育推進部 教育機構支援課

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

大学院生命環境科学研究科

＜国際連携持続環境科学専攻（国際連携専攻）＞		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 授業科目の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	・・・・・・・・・・・・・・・・	9
4. 既設大学等の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	11
5. 教員組織の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	・・・・・・・・・・・・・・・・	28
7. その他全般的事項	・・・・・・・・・・・・・・・・	29

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 筑波大学

【連携外国大学の設置者】 マレーシア

## (2) 大学名

筑波大学大学院

【連携外国大学の名称】

Malaysia-Japan International Institute of Technology

## (3) 調査対象大学等の位置

〒305-8577

茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1

【連携外国大学の本部の位置】

Jalan Sultan Yahya Petra (Jalan Semarak), 54100 Kuala Lumpur, MALAYSIA

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ナガタ キョウスケ) 永田 恭介 (平成25年4月)		
研究科長	(ヌマタ オサム) 沼田 治 (平成28年4月)	(タナカ ヒロシ) 田中 博 (平成30年4月)	任期満了のため変更、平成30年4月1日(30)
専攻長	(ツジムラ マキ) 辻村 真貴 (平成29年9月)	(スズキ イワネ) 鈴木 石根 (平成31年4月)	任期満了のため変更、平成31年4月1日(元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
生命環境科学研究科 国際連携持続環境科学専攻 修士(持続環境科学)	理学関係 農学関係 工学関係 社会学・社会福祉学関係	2年	6人 <428>	- 年次人	12人 <1,057>	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ < >内の数字は、母体となる学部等の全体の入学定員を記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	—	9月入学	4月入学	9月入学	4月入学	9月入学	4月入学	9月入学			
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	0.38倍	-	定員6人のうち、本学からの入学者(4月入学)とマレーシア日本国際工科院からの入学者(9月入学)は概ね3人ずつとして学生募集を実施。
	6		6		6						
	(-)		(-)		(-)		(-)				
	[ - ]		[ - ]		[ - ]		[ - ]				
志願者数	-	7	0	1	3						
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
	[ - ]	[ 7 ]	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]				
受験者数	-	6	0	1	3						
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
	[ - ]	[ 6 ]	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]				
合格者数	-	6	0	1	3						
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
	[ - ]	[ 6 ]	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]				
B 入学者数	-	3	0	1	3						
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
	[ - ]	[ 3 ]	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]				
入学定員超過率 B/A		0.50		0.16		0.50					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科の入学時期に合わせて表を修正してください。
- (例) 「春季入学」→「4月入学」、「10月入学」等
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度 平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	-	9月入学	4月入学	9月入学	4月入学	9月入学	
1年次	- [ - ] ( - )	3 [ 3 ] ( - )	0 [ - ] ( - )	1 [ 1 ] ( - )	3 [ - ] ( - )	1 [ 1 ] ( - )	定員6人のうち、本学からの入学者（4月入学）とマレーシア日本国際工科院からの入学者（9月入学）は概ね3人ずつとして学生募集を実施。
2年次	/		/		1 [ 1 ] ( - )	0 [ - ] ( - )	
計	3 [ 3 ] ( - )		2 [ 2 ] ( - )		5 [ 2 ] ( - )		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科の入学時期に合わせて表を修正してください。
  - (例) 「春季入学」→「4月入学」、「10月入学」等
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	3人	2人	平成29年度	2人	2人	経済的事由(2人)
平成30年度	2人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	5人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		2人		2人	2人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{3} = \boxed{66.66} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{2} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

＜生命環境科学研究科 国際連携持続環境科学専攻＞

### (1) -① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目(必修)	環境科学概論		1前	筑波大学	1			1	1				
	環境科学演習		1前	筑波大学	1				4				
	環境科学実習		1前	筑波大学	1				4				
	合同セミナー	○	1後	マレーシア日本国際工科院・筑波大学	1				2				
	持続性マネジメント政策		1後	マレーシア日本国際工科院	3				1				
	小計(5科目)		-		7	0	0	1	7	0	0	0	0
修論研究科目(選択必修)	環境科学セミナー1		1前	筑波大学	2			1	7		1		
	環境科学セミナー2		2後	筑波大学	2			1	7		1		
	国際インターンシップ1		1後	筑波大学	1				3		1		
	国際インターンシップ2		2前	筑波大学	1				1		1		
	環境科学特別研究2S		2前	筑波大学	3			1	7		1		
	環境科学特別研究2F		2後	筑波大学	3			1	7		1		
	Master Project 1		1後	マレーシア日本国際工科院	6			9	16				
Master Project 2		2前	マレーシア日本国際工科院	6			9	16					
	小計(8科目)		-		0	24	0	10	23	0	1	0	0
教養科目(選択必修)	研究マネジメント技術		1前	筑波大学	1			1					
	科学英語執筆		1前	筑波大学	1			1					
	生命科学工学討論		1後	筑波大学	2			1	1				
	応用環境倫理学		1後	筑波大学	2			1					
	研究方法論		1後	マレーシア日本国際工科院	3			1					
	大学院共通科目		1後	マレーシア日本国際工科院	3			1					
	小計(6科目)		-		0	12	0	4	3	0	0	0	0
専門選択科目	環境政策シミュレーション		1前	筑波大学	2			1					
	水環境論		2後	筑波大学	2			1					
	廃棄物管理序論		1前	筑波大学	2			1					
	固体廃棄物管理システム設計論		2後	筑波大学	2			1					
	生物資源再利用循環論		2後	筑波大学	2			1	2				
	熱帯気候・地球規模モンスーン論		1前	筑波大学	1			1					1
	陸域生態論		1前	筑波大学	1			1					
	環境政策概論		1後	筑波大学	1			1					
	環境影響評価論		2前	マレーシア日本国際工科院	3			1					
	ライフサイクルアセスメント		2前	マレーシア日本国際工科院	3			1					
	再生可能エネルギー論		1後	マレーシア日本国際工科院	3			1					
	持続的食料システム論		1後	マレーシア日本国際工科院	3			1					
	グリーンエコノミー論		1後	マレーシア日本国際工科院	3			1					
	低炭素都市論		1後	マレーシア日本国際工科院	3			1					
	スマートコミュニティ論		2前	マレーシア日本国際工科院	3			1	1				
	応用持続可能システム論		2前	マレーシア日本国際工科院	3			1					
	小計(16科目)		-		0	37	0	9	9	0	0	0	0
	合計(35科目)		-		7	73	0	17	26	0	1	0	0

#### 卒業要件及び履修方法

(国際連携持続環境科学専攻の修了要件・履修方法)  
 必修科目及び選択必修科目(専門、修論研究、教養)を25単位、専門選択科目を17単位以上、合計42単位以上修得し、修士論文審査に合格することを課程修了要件とする。このうち、専門選択科目は、筑波大学開講科目から8単位以上、マレーシア日本国際工科院開講科目から9単位以上を修得しなければならない。  
 (連携外国大学院の修了要件)  
 必修科目及び選択必修科目(専門、修論研究、教養)を25単位、専門選択科目を17単位以上、合計42単位以上修得し、修士論文審査に合格することを課程修了要件とする。このうち、専門選択科目は、筑波大学開講科目から8単位以上、マレーシア日本国際工科院開講科目から9単位以上を修得しなければならない。

#### 【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目(必修)	環境科学概論		1前	筑波大学	1			1	1				
	環境科学演習		1前	筑波大学	1				4				
	環境科学実習		1前	筑波大学	1				4				
	合同セミナー	○	1後	マレーシア日本国際工科院・筑波大学	1				2				
	持続性マネジメント政策		1後	マレーシア日本国際工科院	3				1	1			
	小計(5科目)		-		7	0	0	2	6	0	0	0	0
修論研究科目(選択必修)	環境科学セミナー1		1前	筑波大学	2	2		5	8		2		
	環境科学セミナー2		2後	筑波大学	2	2		5	8		2		
	国際インターンシップ1		1後	筑波大学	1	1		3			1		
	国際インターンシップ2		2前	筑波大学	1	1		1			1		
	環境科学特別研究2S		2前	筑波大学	3			5	8		2		
	環境科学特別研究2F		2後	筑波大学	3			5	8		2		
	Master Project 1		1後	マレーシア日本国際工科院	6	6		8	19				
Master Project 2		2前	マレーシア日本国際工科院	6			8	19					
	小計(8科目)		-		10	12	0	13	27	0	2	0	0
教養科目(選択必修)	研究マネジメント技術		1前	筑波大学	1			1					
	科学英語執筆		1前	筑波大学	1			1					
	生命科学工学討論		1後	筑波大学	2			2	2				
	応用環境倫理学		1後	筑波大学	2			1					
	研究方法論		1後	マレーシア日本国際工科院	3			4	1				
	大学院共通科目		1後	マレーシア日本国際工科院	3			1					
	小計(6科目)		-		0	12	0	3	5	0	0	0	0
専門選択科目	環境政策シミュレーション		1前	筑波大学	2			1					
	水環境論		2後	筑波大学	2			1					
	廃棄物管理序論		1前	筑波大学	2			1					
	固体廃棄物管理システム設計論		2後	筑波大学	2			1					
	生物資源再利用循環論		2後	筑波大学	2			1	2				
	熱帯気候・地球規模モンスーン論		1前	筑波大学	1			4					1
	陸域生態論		1前	筑波大学	1			1					
	環境政策概論		1後	筑波大学	1			1					
	環境影響評価論		2前	マレーシア日本国際工科院	3			1					
	ライフサイクルアセスメント		2前	マレーシア日本国際工科院	3			4	1				
	再生可能エネルギー論		1後	マレーシア日本国際工科院	3			1					
	持続的食料システム論		1後	マレーシア日本国際工科院	3			1					
	グリーンエコノミー論		1後	マレーシア日本国際工科院	3			1					
	低炭素都市論		1後	マレーシア日本国際工科院	3			4	1				
	スマートコミュニティ論		2前	マレーシア日本国際工科院	3			1	1				
	応用持続可能システム論		2前	マレーシア日本国際工科院	3			1					
	小計(16科目)		-		0	37	0	5	10	0	1	0	0
	合計(35科目)		-		17	61	0	15	28	0	2	0	0

#### 卒業要件及び履修方法

(国際連携持続環境科学専攻の修了要件・履修方法)  
 必修科目及び選択必修科目(専門、修論研究、教養)を29単位、専門選択科目を17単位以上、合計46単位以上修得し、修士論文審査に合格することを課程修了要件とする。このうち、専門選択科目は、筑波大学開講科目から8単位以上、マレーシア日本国際工科院開講科目から9単位以上を修得しなければならない。  
 (連携外国大学院の修了要件)  
 必修科目及び選択必修科目(専門、修論研究、教養)を29単位、専門選択科目を17単位以上、合計46単位以上修得し、修士論文審査に合格することを課程修了要件とする。このうち、専門選択科目は、筑波大学開講科目から8単位以上、マレーシア日本国際工科院開講科目から9単位以上を修得しなければならない。

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼任				
					必修	選択	教員	准教授	講師	助教	助手	手					
専門科目 (必修)	環境科学概論		1前	筑波大学	1		1	1									
	環境科学演習		1前	筑波大学	1			4									
	環境科学実習		1前	筑波大学	1			4									
	合同セミナー	○	1後	マレーシア日本国際工科院・筑波大学	1		2										
	持続性マネジメント政策		1後	マレーシア日本国際工科院	3		1										
	小計(5科目)		-		7	0	0	1	7	0	0	0	0	0			
修論研究科目 (選択必修)	環境科学セミナー1		1前	筑波大学	2	2		1	7	1							
	環境科学セミナー2		2後	筑波大学	2	2		1	7	1							
	国際インタナーシップ1		1後	筑波大学	1		3	4									
	国際インタナーシップ2		2前	筑波大学	1		4	4									
	環境科学特別研究2S		2前	筑波大学	3		1	7	1								
	環境科学特別研究2F		2後	筑波大学	3		1	7	1								
	Master Project 1		1後	マレーシア日本国際工科院	6	6		9	16								
	Master Project 2		2前	マレーシア日本国際工科院	6		9	16									
	小計(8科目)		-		10	12	0	10	23	0	1	0	0	0			
教養科目 (選択必修)	研究マネジメント技術		1前	筑波大学	1		1										
	科学英語執筆		1前	筑波大学	1		1										
	生命科学工学討論		1後	筑波大学	2		1	1									
	応用環境倫理学		1後	筑波大学	2		1										
	研究方法論		1後	マレーシア日本国際工科院	3		1										
	大学院共通科目		1後	マレーシア日本国際工科院	3		1										
		小計(6科目)		-		0	12	0	4	3	0	0	0	0	0		
専門選択科目	環境政策シミュレーション		1前	筑波大学	2			1									
	水環境論		2後	筑波大学	2		1										
	廃棄物管理序論		1前	筑波大学	2		1										
	固体廃棄物管理システム設計論		2後	筑波大学	2		1										
	生物資源再利用循環論		2後	筑波大学	2		1	2									
	熱帯気候・地球規模モンスーン論		1前	筑波大学	1		1										
	陸域生態論		1前	筑波大学	1		1										
	環境政策概論		1後	筑波大学	1		1										
	環境影響評価論		2前	マレーシア日本国際工科院	3		1										
	ライフサイクルアセスメント		2前	マレーシア日本国際工科院	3		1										
	再生可能エネルギー論		1後	マレーシア日本国際工科院	3		1										
	持続的食料システム論		1後	マレーシア日本国際工科院	3		1										
	グリーンエコノミー論		1後	マレーシア日本国際工科院	3		1										
	低炭素都市論		1後	マレーシア日本国際工科院	3		1										
	スマートコミュニティ論		2前	マレーシア日本国際工科院	3		1	1									
	応用持続可能システム論		2前	マレーシア日本国際工科院	3		1										
		小計(16科目)		-		0	37	0	8	9	0	0	0	0	0		
合計(35科目)									17	61	0	17	26	0	1	0	0

## 卒業要件及び履修方法

(国際連携持続環境科学専攻の修了要件・履修方法)  
 必修科目及び選択必修科目(専門、修論研究、教養)を29単位、専門選択科目を17単位以上、合計46単位以上修得し、修士論文審査に合格することを課程修了要件とする。このうち、専門選択科目は、筑波大学開講科目から8単位以上、マレーシア日本国際工科院開講科目から9単位以上を修得しなければならぬ。  
 (連携外国大学院の修了要件)  
 必修科目及び選択必修科目(専門、修論研究、教養)を29単位、専門選択科目を17単位以上、合計46単位以上修得し、修士論文審査に合格することを課程修了要件とする。このうち、専門選択科目は、筑波大学開講科目から8単位以上、マレーシア日本国際工科院開講科目から9単位以上を修得しなければならぬ。

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼任				
					必修	選択	教員	准教授	講師	助教	助手	手					
専門科目 (必修)	環境科学概論		1前	筑波大学	1		1	1									
	環境科学演習		1前	筑波大学	1			4									
	環境科学実習		1前	筑波大学	1			4									
	合同セミナー	○	1後	マレーシア日本国際工科院・筑波大学	1		2										
	持続性マネジメント政策		1後	マレーシア日本国際工科院	3		1										
	小計(5科目)		-		7	0	0	1	7	0	0	0	0	0			
修論研究科目 (選択必修)	環境科学セミナー1		1前	筑波大学	2	2		3	7	1							
	環境科学セミナー2		2後	筑波大学	2	2		3	7	1							
	国際インタナーシップ1		1後	筑波大学	1		3	4									
	国際インタナーシップ2		2前	筑波大学	1		4	4									
	環境科学特別研究2S		2前	筑波大学	3		3	7	1								
	環境科学特別研究2F		2後	筑波大学	3		3	7	1								
	Master Project 1		1後	マレーシア日本国際工科院	6	6		9	14								
	Master Project 2		2前	マレーシア日本国際工科院	6		9	14									
	小計(8科目)		-		10	12	0	12	21	0	1	0	0	0			
教養科目 (選択必修)	研究マネジメント技術		1前	筑波大学	1		1										
	科学英語執筆		1前	筑波大学	1		1										
	生命科学工学討論		1後	筑波大学	2		1	1									
	応用環境倫理学		1後	筑波大学	2		1										
	研究方法論		1後	マレーシア日本国際工科院	3		1										
	大学院共通科目		1後	マレーシア日本国際工科院	3		1										
		小計(6科目)		-		0	12	0	4	3	0	0	0	0	0		
専門選択科目	環境政策シミュレーション		1前	筑波大学	2			1									
	水環境論		2後	筑波大学	2		1										
	廃棄物管理序論		1前	筑波大学	2		1										
	固体廃棄物管理システム設計論		2後	筑波大学	2		1										
	生物資源再利用循環論		2後	筑波大学	2		1	2									
	熱帯気候・地球規模モンスーン論		1前	筑波大学	1		1										
	陸域生態論		1前	筑波大学	1		1										
	環境政策概論		1後	筑波大学	1		1										
	環境影響評価論		2前	マレーシア日本国際工科院	3		1										
	ライフサイクルアセスメント		2前	マレーシア日本国際工科院	3		1										
	再生可能エネルギー論		1後	マレーシア日本国際工科院	3		1										
	持続的食料システム論		1後	マレーシア日本国際工科院	3		1										
	グリーンエコノミー論		1後	マレーシア日本国際工科院	3		1										
	低炭素都市論		1後	マレーシア日本国際工科院	3		1										
	スマートコミュニティ論		2前	マレーシア日本国際工科院	3		1	1									
	応用持続可能システム論		2前	マレーシア日本国際工科院	3		1										
		小計(16科目)		-		0	37	0	8	9	0	0	0	0	0		
合計(35科目)									17	61	0	19	24	0	1	0	0

## 卒業要件及び履修方法

(国際連携持続環境科学専攻の修了要件・履修方法)  
 必修科目及び選択必修科目(専門、修論研究、教養)を29単位、専門選択科目を17単位以上、合計46単位以上修得し、修士論文審査に合格することを課程修了要件とする。このうち、専門選択科目は、筑波大学開講科目から8単位以上、マレーシア日本国際工科院開講科目から9単位以上を修得しなければならぬ。  
 (連携外国大学院の修了要件)  
 必修科目及び選択必修科目(専門、修論研究、教養)を29単位、専門選択科目を17単位以上、合計46単位以上修得し、修士論文審査に合格することを課程修了要件とする。このうち、専門選択科目は、筑波大学開講科目から8単位以上、マレーシア日本国際工科院開講科目から9単位以上を修得しなければならぬ。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。  
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。  
 ・ 「認可時又は届出時」には「設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)



(1) ②授業科目表に関する変更内容  
掲載省略

(2) 授業科目数

	設置時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
筑波大学	3 科目	18 科目	0 科目	21 科目	5 科目 [ 2 ]	14 科目 [ Δ4 ]	0 科目 [ 0 ]	19 科目 [ Δ2 ]	
マレーシア 日本国際 工科院	1 科目	12 科目	0 科目	13 科目	2 科目 [ 1 ]	11 科目 [ Δ1 ]	0 科目 [ 0 ]	13 科目 [ 0 ]	
共同開設 科目	1 科目	0 科目	0 科目	1 科目	1 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	1 科目 [ 0 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	筑波大学	該当なし					
2	マレーシア日本国際工科院	該当なし					
3	共同開設科目	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	筑波大学	国際インターンシップ 1	1	1後	修論研究科目	選択	当初は、本学とマレーシア日本国際工科院がそれぞれ自大学の修論研究科目を履修させることとしていたが、実質的には学生が双方の大学に概ね1年間滞在し、相手大学の副指導教員から修論指導を受けることを踏まえ、学修内容に応じた適切な単位付与及び国際連携専攻としての教育課程をより明確化する観点から、双方大学の修論研究科目のうち、「環境科学セミナー 1」及び「環境科学セミナー 2」（筑波大学開設科目／各2単位）並びに「Master Project 1」（マレーシア日本国際工科院開設科目／6単位）を選択必修から必修に変更した（上記(1)~②に記載）。「国際インターンシップ 1」及び「国際インターンシップ 2」の内容は、必修化した「Master Project 1」に統合されるため、当該2科目を廃止した。(30)
2	筑波大学	国際インターンシップ 2	1	2前	修論研究科目	選択	
3	マレーシア日本国際工科院	該当なし					
4	共同開設科目	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

上記授業科目の廃止は、学生が双方の大学に概ね1年間滞在し、相手大学の副指導教員から修論指導を受けることを踏まえ、学修内容に応じた適切な単位付与及び国際連携専攻としての教育課程をより明確化する観点から、双方大学の修論研究科目の一部を必修化したことに伴い、必修化した科目（Master Project 1）に内容が統合される上記2科目を廃止したものであり、学生の学修内容について設置構想時から変更を加えたものではない。  
 学生に対しては、履修ガイダンス（マレーシア日本国際工科院及び筑波大学）を行った後に、学生が作成した履修科目登録表に問題がないか確認することにより十分な周知を行った。(30)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{35} = \boxed{5.71} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計						
	校 舎 敷 地	1,371,692 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	1,371,692 m <sup>2</sup>						
	運 動 場 用 地	330,920 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	330,920 m <sup>2</sup>						
	小 計	1,702,612 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	1,702,612 m <sup>2</sup>						
	そ の 他	886,368 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	886,368 m <sup>2</sup>						
	合 計	2,588,980 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	2,588,980 m <sup>2</sup>						
(2) 校 舎	専 用	494,154 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	494,154 m <sup>2</sup>						
	( 494,154 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	( 494,154 m <sup>2</sup> )						
(3) 教 室 等	講 義 室	328 332 室	演 習 室	291 300 室	実験実習室	2,043 2,031 室	情報処理学習施設	33 31 30 室 (補助職員 13 12 人)	語学学習施設	7 室 (補助職員 18 14 人)	大学全体 環境整備統合による室数減及び退職による職員減(30) 教室用途整理のため(元)
	新設学部等の名称		生命環境科学研究科 国際連携持続環境科学専攻		室 数		9 11 13 室		平成30年4月 専任教授2名を追加のため(30) 平成31年4月 専任教授1名及び専任助教1名を追加のため(元)		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専攻単位での特定不能なため、大学全体の数			
	生命環境科学研究科 国際連携持続環境科学専攻	2,643,346 (←1,038,005)	30,168 (←12,846)	28,970 (←28,331)	16,959	24,989	551				
		2,662,306 (←1,041,657)	30,269 (←12,869)	29,586 (←28,949)	17,109	40,580					
		2,681,796 (←1,044,194)	30,364 (←12,874)	31,466 (←31,404)	17,262	24,989					
		(←2,643,346 (←1,038,005))	(←30,168 (←12,846))	(←28,970 (←28,331))	(←16,959)	(←24,989)	(551)				
計	2,643,346 (←1,038,005)	30,168 (←12,846)	28,970 (←28,331)	16,959	24,989	551	図書等追加購入による増(30) 図書等追加購入・廃棄等のため(元)				
(6) 図 書 館	面 積	27,493 m <sup>2</sup>		閱 覧 座 席 数	2,192 2,234 2,230		収 納 可 能 冊 数	2,597,473 2,606,501			
	面 積		18,682 m <sup>2</sup>		体育館以外のスポーツ施設の概要			テニスコート、ハンドボール場、ラグビー場、サッカー場、陸上競技場、屋内プール			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による		
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円			
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円				
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		千円	千円	千円	千円	千円	千円				
学生納付金以外の維持方法の概要											

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ※国際連携学科等に係る申請大学の状況を記載し、連携外国大学の状況は含めないでください。
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	筑波大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度		
人文・文化学群	4	240	-	960	-	1.07	-	平成19年度	-	
人文学類	4	120	-	480	学士 (人文学)	1.07	-	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1	
比較文化学類	4	80	-	320	学士 (比較文化)	1.05	-	平成19年度	同上	
日本語・日本文学類	4	40	-	160	学士 (文学) (日本語教育)	1.11	-	平成19年度	同上	
社会・国際学群	4	160	3年次10	660	-	1.13	-	平成19年度	-	
社会学類	4	80	3年次10	340	学士 (社会学) (法学) (政治学) (経済学) (国際社会科学)	1.10	-	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1	
国際総合学類	4	80	-	320	学士 (国際関係学) (国際開発学) (国際社会科学)	1.15	-	平成19年度	同上	
人間学群	4	120	-	480	-	1.06	-	平成19年度	-	
教育学類	4	35	-	140	学士 (教育学)	1.04	-	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1	
心理学類	4	50	-	200	学士 (心理学)	1.06	-	平成19年度	同上	
障害科学類	4	35	-	140	学士 (障害科学) (特別支援教育学) (社会福祉学)	1.08	-	平成19年度	同上	
生命環境学群	4	250	3年次10	1,020	-	1.12	-	平成19年度	-	
生物学類	4	80	-	320	学士 (理学)	1.14	-	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1	
生物資源学類	4	120	3年次10	500	学士 (生物資源学) (農学)	1.13	-	平成19年度	同上	
地球学類	4	50	-	200	学士 (理学)	1.06	-	平成19年度	同上	
理工学群	4	520	3年次10	2,100	-	1.03	-	平成19年度	-	
数学類	4	40	-	160	学士 (理学)	1.02	-	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1	
物理学類	4	60	-	240	学士 (理学)	1.03	-	平成19年度	同上	
化学類	4	50	-	200	学士 (理学)	1.03	-	平成19年度	同上	
応用理工学類	4	120	3年次10	500	学士 (工学)	1.05	-	平成19年度	同上	
工学システム学類	4	130	-	520	学士 (工学)	1.04	-	平成19年度	同上	
社会工学類	4	120	-	480	学士 (社会工学)	1.02	-	平成19年度	同上	
情報学群	4	230	3年次30	980	-	1.06	-	平成19年度	-	
情報科学類	4	80	3年次10	340	学士 (情報科学) (情報工学)	1.05	-	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1	
情報メディア創成学類	4	50	3年次10	220	学士 (情報メディア科学)	1.09	-	平成19年度	茨城県つくば市春日1-2	
知識情報・図書館学類	4	100	3年次10	420	学士 (図書館情報学)	1.05	-	平成19年度	同上	

医学群	6	135	2年次 5	813	-	1.00	-	平成19年度	-	
医学類	6	135	2年次 5	813	学士 (医学)	1.00	-	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1	臨時定員増を含む
医学群	4	107	3年次 13	454	-	1.03	-	平成19年度	-	
看護学類	4	70	3年次 10	300	学士 (看護学) (ヘルスケア)	1.03	-	平成19年度	茨城県つくば市天王台1-1-1	
医療科学類	4	37	3年次 3	154	学士 (医療科学) (国際医療科学)	1.03	-	平成19年度	同上	
体育専門学群	4	240	-	960	学士 (体育学)	1.05	-	昭和49年度	茨城県つくば市天王台1-1-1	
芸術専門学群	4	100	-	400	学士 (芸術学)	1.08	-	昭和50年度	茨城県つくば市天王台1-1-1	
大学全体	4	1,967	3年次 73	8,014	-	1.06	-	-	-	
	6	135	2年次 5	813	-	1.00	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	筑波大学大学院								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度		
教育研究科 【修士課程】	2 2	100 100	- -	199 199	- -	- 0.94	- -	昭和53 -	- -	
スクリーニング開発専攻 (修士課程)	2	20	-	39	修士 (教育学)	1.50	-	平成18	茨城県つくば市天王台1-1-1	
教科教育専攻 (修士課程)	2	80	-	160	修士 (教育学)	0.80	-	昭和53	同上	
人文社会科学研究科 【修士課程】	2	161 36	- -	473 72	- -	- 0.73	- -	平成13 -	- -	
【博士前期課程】	2	50	-	100	-	1.19	-	-	-	
【博士後期課程】	3	37	-	111	-	0.82	-	-	-	
【一貫制博士課程】	5	38	-	190	-	0.93	-	-	-	
国際地域研究専攻 (修士課程)	2	36	-	72	修士 (地域研究) (国際学) (公共政策) (経済学) (学術)	0.73	-	平成27	茨城県つくば市天王台1-1-1	
現代語・現代文化専攻 (博士前期課程)	2	10	-	20	修士 (文学) (言語学) (学術)	0.95	-	平成20	茨城県つくば市天王台1-1-1	
国際公共政策専攻 (博士前期課程)	2	15	-	30	修士 (政治学) (社会学) (国際政治経済学) (国際公共政策) (学術)	0.93	-	平成20	同上	
国際日本研究専攻 (博士前期課程)	2	25	-	50	修士 (人文科学) (社会科学) (国際日本研究) (日本語教育学)	1.44	-	平成27	同上	
現代語・現代文化専攻 (博士後期課程)	3	8	-	24	博士 (文学) (言語学) (学術)	0.70	-	平成20	茨城県つくば市天王台1-1-1	
国際公共政策専攻 (博士後期課程)	3	10	-	30	博士 (政治学) (社会学) (国際政治経済学) (国際公共政策) (学術)	0.50	-	平成20	同上	
国際日本研究専攻 (博士後期課程)	3	19	-	57	博士 (人文科学) (社会科学) (国際日本研究) (日本語教育学) (学術)	1.04	-	平成20	同上	
哲学・思想専攻 (一貫制博士課程)	5	6	-	30	博士 (文学)	1.19	-	平成13	茨城県つくば市天王台1-1-1	
歴史・人類学専攻 (一貫制博士課程)	5	12	-	60	博士 (文学)	1.01	-	平成13	同上	
文芸・言語専攻 (一貫制博士課程)	5	20	-	100	博士 (文学) (言語学)	0.81	-	平成13	同上	
ビジネス科学研究科 【博士前期課程】	2	149 60	- -	357 120	- -	- 0.96	- -	平成13 -	- -	
【博士後期課程】	3	23	-	69	-	0.99	-	-	-	
【法科大学院】	3	36	-	108	-	0.98	-	-	-	
【専門職学位課程】	2	30	-	60	-	1.06	-	-	-	
経営システム科学専攻 (博士前期課程)	2	30	-	60	修士 (経営学) (経営システム科学)	1.01	-	平成13	東京都文京区大塚3-29-1	
企業法学専攻 (博士前期課程)	2	30	-	60	修士 (法学)	0.91	-	平成13	同上	
企業科学専攻 (博士後期課程)	3	23	-	69	博士 (経営学) (システム・マネジメント) (法学)	0.99	-	平成13	東京都文京区大塚3-29-1	

法曹専攻 (法科大学院)	3	36	-	108	法務博士 (専門職)	0.98	-	平成17	東京都文京区大塚3-29-1	
国際経営プロフェッショナル専攻 (専門職学位課程)	2	30	-	60	国際経営修士 (専門職)	1.06	-	平成17	東京都文京区大塚3-29-1	
数理工学科学研究科 【博士前期課程】	-	351	-	813	-	-	-	平成12	-	
【博士後期課程】	2	240	-	480	-	1.11	-	-	-	
【後期3年だけの博士課程】	3	102	-	306	-	0.45	-	-	-	
	3	9	-	27	-	1.66	-	-	-	
数学専攻 (博士前期課程)	2	27	-	54	修士 (理学)	0.82	-	平成12	茨城県つくば市天王台1-1-1	
物理学専攻 (博士前期課程)	2	50	-	100	修士 (理学)	1.14	-	平成12	同上	
化学専攻 (博士前期課程)	2	48	-	96	修士 (理学)	0.98	-	平成12	同上	
電子・物理工学専攻 (博士前期課程)	2	54	-	108	修士 (工学)	1.24	-	平成12	同上	
物性・分子工学専攻 (博士前期課程)	2	61	-	122	修士 (工学)	1.20	-	平成12	同上	
数学専攻 (博士後期課程)	3	12	-	36	博士 (理学)	0.36	-	平成12	茨城県つくば市天王台1-1-1	
物理学専攻 (博士後期課程)	3	20	-	60	博士 (理学)	0.41	-	平成12	同上	
化学専攻 (博士後期課程)	3	16	-	48	博士 (理学)	0.41	-	平成12	同上	
ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻 (博士後期課程)	3	25	-	75	博士 (工学)	0.33	-	平成24	同上	
電子・物理工学専攻 (博士後期課程)	3	16	-	48	博士 (工学)	0.57	-	平成12	同上	
物性・分子工学専攻 (博士後期課程)	3	13	-	39	博士 (工学)	0.71	-	平成12	同上	
物質・材料工学専攻 (後期3年だけの博士課程)	3	9	-	27	博士 (工学)	1.66	-	平成16	茨城県つくば市天王台1-1-1	
システム情報工学研究科 【博士前期課程】	-	533	-	1,172	-	-	-	平成12	-	
【博士後期課程】	2	427	-	854	-	1.24	-	-	-	
	3	106	-	318	-	0.77	-	-	-	
社会学専攻 (博士前期課程)	2	108	-	216	修士 (社会学) (サービス工学)	1.20	-	平成26	茨城県つくば市天王台1-1-1	
リスク工学専攻 (博士前期課程)	2	30	-	60	修士 (工学) (社会学)	1.34	-	平成13	同上	
コンピュータサイエンス専攻 (博士前期課程)	2	113	-	226	修士 (工学)	1.26	-	平成12	同上	
知能機能システム専攻 (博士前期課程)	2	108	-	216	修士 (工学)	1.18	-	平成12	同上	
構造エネルギー工学専攻 (博士前期課程)	2	68	-	136	修士 (工学)	1.32	-	平成12	同上	
社会学専攻 (博士後期課程)	3	26	-	78	博士 (社会学)	0.63	-	平成26	茨城県つくば市天王台1-1-1	
リスク工学専攻 (博士後期課程)	3	12	-	36	博士 (工学) (社会学)	0.88	-	平成13	同上	
コンピュータサイエンス専攻 (博士後期課程)	3	28	-	84	博士 (工学)	0.61	-	平成12	同上	
知能機能システム専攻 (博士後期課程)	3	24	-	72	博士 (工学)	1.14	-	平成12	同上	
構造エネルギー工学専攻 (博士後期課程)	3	16	-	48	博士 (工学)	0.62	-	平成12	同上	
生命環境科学研究科 【博士前期課程】	-	428	-	1,057	-	-	-	平成12	-	
【博士後期課程】	2	269	-	538	-	1.19	-	-	-	
【後期3年だけの博士課程】	3	132	-	396	-	0.90	-	-	-	
【一貫制博士課程】	3	6	-	18	-	0.55	-	-	-	
	5	21	-	105	-	0.64	-	-	-	
地球科学専攻 (博士前期課程)	2	39	-	78	修士 (理学) (地球科学)	1.59	-	平成19	茨城県つくば市天王台1-1-1	
生物科学専攻 (博士前期課程)	2	49	-	98	修士 (理学)	1.15	-	平成17	同上	
生物資源科学専攻 (博士前期課程)	2	106	-	212	修士 (農学) (生物資源工学) (生物工学) (バイオイノベーション) (学術)	1.24	-	平成17	同上	
環境科学専攻 (博士前期課程)	2	69	-	138	修士 (環境科学)	1.01	-	平成19	同上	
国際連携持続環境科学専攻 (博士前期課程)	2	6	-	12	修士 (持続環境科学)	0.72	-	平成29	同上	H29.9設置 4月及び9月入学



地球環境科学専攻 (博士後期課程)	3	11	-	33	博士 (理学) (地球環境科学)	0.87	-	平成19	茨城県つくば市天王台1-1-1	
地球進化科学専攻 (博士後期課程)	3	8	-	24	博士 (理学) (地球科学)	0.99	-	平成19	同上	
生物科学専攻 (博士後期課程)	3	26	-	78	博士 (理学) (生物科学) (学術)	1.02	-	平成23	同上	
国際地縁技術開発科学専攻 (博士後期課程)	3	22	-	66	博士 (農学) (生物資源工学) (学術)	0.67	-	平成17	同上	
生物圏資源科学専攻 (博士後期課程)	3	20	-	60	博士 (農学) (学術)	0.78	-	平成17	同上	
生物機能科学専攻 (博士後期課程)	3	21	-	63	博士 (農学) (生物工学) (学術)	0.56	-	平成17	同上	
生命産業科学専攻 (博士後期課程)	3	12	-	36	博士 (生物科学) (農学) (生物工学) (学術)	0.83	-	平成17	同上	
持続環境学専攻 (博士後期課程)	3	12	-	36	博士 (環境学)	1.91	-	平成19	同上	
先端農業技術科学専攻 (後期3年のみの博士課程)	3	6	-	18	博士 (農学)	0.55	-	平成17	茨城県つくば市天王台1-1-1	
環境バイオマス共生学専攻 (一貫制博士課程)	5	21	-	105	博士 (学術)	0.64	-	平成24	茨城県つくば市天王台1-1-1	
人間総合科学研究科 【修士課程】	-	616	-	1,478	-	-	-	平13	-	
【博士前期課程】	2	88	-	176	-	1.12	-	-	-	
【博士後期課程】	2	344	-	688	-	0.99	-	-	-	
【後期3年のみの博士課程】	3	86	-	258	-	0.94	-	-	-	
【医学を履修する博士課程】	3	36	-	108	-	1.28	-	-	-	
	4	62	-	248	-	1.49	-	-	-	
ｽﾎｰﾌﾟ健康ｽﾀﾃﾞｰﾏﾝﾄ専攻 (修士課程)	2	24	-	48	修士 (体育学) (保健学)	0.99	-	平成20	東京都文京区大塚3-29-1	
フロンティア医科学専攻 (修士課程)	2	50	-	100	修士 (医科学) (公衆衛生学) (ヒューマン・ケア科学)	1.27	-	平成18	茨城県つくば市天王台1-1-1	
ｽﾎｰﾌﾟ国際開発学共同専攻 (修士課程)	2	5	-	10	修士 (ｽﾎｰﾌﾟ国際開発学)	1.20	-	平成28	同上	
国際連携食料健康科学専攻 (修士課程)	2	9	-	18	修士 (食料健康科学)	1.16	-	平成29	同上	H29.9設置 9月入学のみ
教育学専攻 (博士前期課程)	2	18	-	36	修士 (教育学)	0.69	-	平成20	茨城県つくば市天王台1-1-1	
心理専攻 (博士前期課程)	2	16	-	32	修士 (心理学)	0.78	-	平成20	同上	
障害科学専攻 (博士前期課程)	2	45	-	90	修士 (障害科学) (特別支援教育学)	0.75	-	平成20	同上	
生涯発達専攻 (博士前期課程)	2	46	-	92	修士 (カウンセリング) (リハビリテーション)	1.06	-	平成20	東京都文京区大塚3-29-1	
感性認知脳科学専攻 (博士前期課程)	2	14	-	28	修士 (感性科学) (行動科学) (神経科学) (学術)	1.24	-	平成20	茨城県つくば市天王台1-1-1	
看護科学専攻 (博士前期課程)	2	15	-	30	修士 (看護科学)	0.99	-	平成19	同上	
体育学専攻 (博士前期課程)	2	115	-	230	修士 (体育学) (コーチング学) (ｽﾎｰﾌﾟ・ﾘﾝﾋﾞｯｸ学)	1.11	-	平成20	同上	
芸術専攻 (博士前期課程)	2	60	-	120	修士 (芸術学) (デザイン学)	0.94	-	平成19	同上	
世界遺産専攻 (博士前期課程)	2	15	-	30	修士 (世界遺産学) (学術)	1.06	-	平成19	同上	
教育基礎学専攻 (博士後期課程)	3	8	-	24	博士 (教育学)	0.62	-	平成20	茨城県つくば市天王台1-1-1	
学校教育学専攻 (博士後期課程)	3	6	-	18	博士 (教育学) (学術)	1.38	-	平成20	同上	
心理学専攻 (博士後期課程)	3	6	-	18	博士 (心理学) (学術)	0.49	-	平成20	同上	
障害科学専攻 (博士後期課程)	3	10	-	30	博士 (障害科学)	1.10	-	平成20	同上	

生涯発達科学専攻 (博士後期課程)	3	6	-	18	博士 (生涯発達科学) (カンセリク <sup>®</sup> 科学) (リハビリテーション科学)	1.11	-	平成20	東京都文京区大塚3-29-1	
感性認知脳科学専攻 (博士後期課程)	3	10	-	30	博士 (感性科学) (行動科学) (神経科学) (学術)	1.13	-	平成20	茨城県つくば市天王台1-1-1	
看護科学専攻 (博士後期課程)	3	8	-	24	博士 (看護科学)	0.91	-	平成21	同上	
体育科学専攻 (博士後期課程)	3	15	-	45	博士 (体育科学) (健康スポーツ科学) (学術)	1.06	-	平成20	同上	
芸術専攻 (博士後期課程)	3	10	-	30	博士 (芸術学) (デザイン学)	0.90	-	平成19	同上	
世界文化遺産学専攻 (博士後期課程)	3	7	-	21	博士 (世界遺産学) (学術)	0.56	-	平成18	同上	
ヒューマン・ケア科学専攻 (後期3年のみの博士課程)	3	18	-	54	博士 (教育学) (心理学) (ヒューマン・ケア科学) (体育科学) (公衆衛生学) (学術)	1.29	-	平成20	茨城県つくば市天王台1-1-1	
スポーツ医学専攻 (後期3年のみの博士課程)	3	10	-	30	博士 (スポーツ医学) (学術)	1.16	-	平成20	同上	
コーチング学専攻 (後期3年のみの博士課程)	3	5	-	15	博士 (コーチング学) (学術)	1.66	-	平成18	同上	
大学体育スポーツ高度化共同専攻 (後期3年のみの博士課程)	3	3	-	9	博士 (体育スポーツ学)	1.00	-	平成28	同上	
生命システム医学専攻 (医学を履修する博士課程)	4	28	-	112	博士 (医学) (学術)	1.23	-	平成20	茨城県つくば市天王台1-1-1	
疾患制御医学専攻 (医学を履修する博士課程)	4	34	-	136	博士 (医学) (学術)	1.71	-	平成20	同上	
図書館情報メディア研究科 【博士前期課程】	-	58	-	137	-	-	-	平成15	-	
【博士後期課程】	2	37	-	74	-	1.24	-	-	-	
	3	21	-	63	-	0.50	-	-	-	
図書館情報メディア専攻 (博士前期課程)	2	37	-	74	修士 (図書館情報学) (情報学)	1.24	-	平成15	茨城県つくば市春日1-2	
図書館情報メディア専攻 (博士後期課程)	3	21	-	63	博士 (図書館情報学) (情報学) (学術)	0.50	-	平成15	茨城県つくば市春日1-2	
大学院全体	-	2,396	-	5,686	-	-	-	-	-	
【修士課程】	2	224	-	447	-	0.98	-	-	-	
【博士前期課程】	2	1,427	-	2,854	-	1.14	-	-	-	
【博士後期課程】	3	507	-	1,521	-	0.77	-	-	-	
【後期3年のみの博士課程】	3	51	-	153	-	1.26	-	-	-	
【医学を履修する博士課程】	4	62	-	248	-	1.49	-	-	-	
【一貫制博士課程】	5	59	-	295	-	0.83	-	-	-	
【法科大学院】	3	36	-	108	-	0.98	-	-	-	
【専門職学位課程】	2	30	-	60	-	1.06	-	-	-	
<学生募集を停止している専攻>										
システム情報工学研究科 社会システム・マネジメント専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (社会経済) (社会工学) (マネジメント) (工学)	-	-	平成12	同上	平成26年度より学生募集停止

5 教員組織の状況

(1) ① 担当教員表

掲載省略

(1) ② 担当教員表に関する変更内容

掲載省略

(2) 専任教員数等

(注) ・ 本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員（研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

(2) ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものと定める教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
5	8	0	1	14	7	8	0	2	17
(5)	(8)	(0)	(1)	(14)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
11	1	2			14	1	2		
(11)	(1)	(2)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(C)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
7	8	0	2	17	7	8	0	2	17
[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 3 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 3 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
14	1	2			14	1	2		
[ 3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]			[ 3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{17}{14} = \boxed{121.42} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{17} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(注)・本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員(同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員研究指導教員等)が兼ねて担当する場合も含める)について記入してください。

(3) -① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由
1		該当なし					
2							
合計(D)					後任補充状況の集計(E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		掲載省略					
合計(F)					後任補充状況の集計(G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	1	科目

- (注)・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D)+(F)					後任補充状況の集計(E)+(G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	1	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{14} = 7.14 \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		該当なし					
2							
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 当該専任教員の辞任後、シームレスに後任が就任しており、学生の履修等への影響は全く無い。</p> <p>「学生への周知方法」 4月の履修ガイダンス時に学生に直接周知した。また、専攻ホームページに新たに就任した教員を掲載した。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (29年)	1. 協定書の締結にあ たっては、申請書に示 されている内容を确实 に反映させること。  留意事項	申請書に示した協定書 (案)と全く同じ内容で平 成29年8月29日に締結した。 (30)  履行済	

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <生命環境科学研究科 国際連携持続環境科学専攻>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 修了要件単位数 4 2 単位</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門科目 7 単位 (必修)</li> <li>・ 修論研究科目 1 2 単位 (選択必修)</li> <li>・ 教養科目 6 単位 (選択必修)</li> <li>・ 専門選択科目 1 7 単位 (選択)</li> </ul>	<p>① 修了要件単位数 4 6 単位</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門科目 7 単位 (必修)</li> <li>・ 修論研究科目 1 6 単位 (必修及び選択必修)</li> <li>・ 教養科目 6 単位 (選択必修)</li> <li>・ 専門選択科目 1 7 単位 (選択)</li> </ul> <p>(変更理由)</p> <p>当初は、本学とマレーシア日本国際工科院がそれぞれ自大学の修論研究科目を履修させることとしていたが、実質的には学生が双方の大学に概ね1年間滞在し、相手大学の副指導教員から修論指導を受けることを踏まえ、学修内容に応じた適切な単位付与及び国際連携専攻としての教育課程をより明確化する観点から、双方大学の修論研究科目のうち、「環境科学セミナー 1」及び「環境科学セミナー 2」(筑波大学開設科目/各2単位)並びに「Master Project 1」(マレーシア日本国際工科院開設科目/6単位)を選択必修から必修に変更し、両大学とも修了要件を46単位とした(これに伴い、「Master Project 1」に内容が統合される「国際インターンシップ 1」及び「国際インターンシップ 2」(筑波大学開設/各1単位)を廃止)。</p> <p>修論研究科目の履修方法を実際の学修内容により即した形に改めたものであり、学生の学修内容について設置構想時から変更を加えたものではない。(30)</p>
	<p>&lt;連携外国大学との「協議の場」に係る実施状況&gt;</p> <p>【実施状況】</p> <p>両大学合同の国際連携専攻運営委員会を設置し、協議及びプログラム運営を実施している。また、運営委員会の下にコアメンバー会議及び目的別の小委員会を置き、両大学の関係者により日常的に連絡調整・情報共有等を行っている。運営委員会等の開催状況は以下のとおり。</p> <p>■会議名：第1回国際連携専攻運営委員会 ◇平成30年4～6月、電子メール等による協議、連絡調整、情報共有 ◇議題：  <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 前回メール会議内容の確認</li> <li>(2) 学生の指導について</li> <li>(3) 学生の募集について(筑波大学・マレーシア日本国際工科院)</li> <li>(4) 学生の履修状況について</li> <li>(5) その他</li> </ol> ◇参加者：筑波大学4名、マレーシア日本国際工科院6名</p> <p>■会議名：第2回国際連携専攻運営委員会 ◇日時：平成30年6月11日(月)17:30～ ◇場所：筑波大学、マレーシア日本国際工科院(遠隔地会議システム・対面会議) ◇議題：  <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 合格判定会議(マレーシア日本国際工科院ホーム学生)</li> <li>(2) その他</li> </ol> ◇参加者：筑波大学5名、マレーシア日本国際工科院6名</p> <p>■会議名：第1回コアメンバー会議</p>

◇日時：平成30年7月23日（月）10:00～  
◇場所：マレーシア日本国際工科院（対面会議）  
◇議題：  
（1）学生の奨学金について  
（2）入試実施について（筑波大学ホーム8月期入試）  
（3）その他

◇参加者：筑波大学2名、マレーシア日本国際工科院4名

■会議名：第3回国際連携専攻運営委員会

◇日時：平成30年8月22日17:30～  
◇場所：筑波大学、マレーシア日本国際工科院（遠隔地会議システム）  
◇議題：

- （1）合格判定会議（筑波大学ホーム学生8月期入試）  
（2）その他

◇参加者：筑波大学5名、マレーシア日本国際工科院7名

■会議名：第4回国際連携専攻運営委員会

◇日時：平成30年9月21日（金）14:00～

◇場所：筑波大学（対面会議）

◇議題：

- （1）マレーシア日本国際工科院ホーム新入生の研究指導体制について  
（2）筑波大学ホーム学生のマレーシア日本国際工科院に滞在中の宿舎について  
（3）入試について（筑波大ホーム学生2月期入試）  
（4）合同セミナーについて（実施日程・プログラム）  
（5）定員確保のための学生募集の対策について  
（6）その他

◇参加者：筑波大学3名、マレーシア日本国際工科院6名

■会議名：第5回国際連携専攻運営委員会

◇平成30年10～11月、電子メール等による協議、連絡調整、情報共有

◇議題：

- （1）マレーシア日本国際工科院ホーム新入生の研究指導体制について  
（2）合同セミナーについて（実施日程・プログラム）  
（3）その他

◇参加者：筑波大学5名、マレーシア日本国際工科院6名

■会議名：第2回コアメンバー会議

◇日時：平成30年11月21日（水）14:30～

◇場所：マレーシア日本国際工科院（対面会議）

◇議題：

- （1）マレーシア日本国際工科院ホーム新入生の研究指導体制について  
（2）合同セミナーについて（プログラム）  
（3）学生確保に資する国際連携共同教育プロジェクトについて  
（4）マレーシア日本国際工科院ホーム学生の修了認定手続き、スケジュールについて  
  
（5）筑波大学ホーム学生の宿舎について  
（6）入試について（筑波大学ホーム2月期入試）  
（7）その他

◇参加者：筑波大学2名、マレーシア日本国際工科院4名

■会議名：第6回国際連携専攻運営委員会

◇平成30年11～12月、電子メール等による協議、連絡調整、情報共有

◇議題：

- （1）国際連携共同教育プログラム（AUN Seed-Net）  
（2）その他

◇参加者：筑波大学15名、マレーシア日本国際工科院5名

■会議名：第7回国際連携専攻運営委員会

◇平成31年1月、電子メール等による協議、連絡調整、情報共有

◇議題：

- （1）合同セミナーの実施について  
（2）VISAについて



(3) 奨学金について

(4) その他

◇参加者：筑波大学7名、マレーシア日本国際工科院7名

■会議名：第8回国際連携専攻運営委員会

◇日時：平成31年2月21日（木）15:00～

◇場所：マレーシア日本国際工科院（対面会議）

◇議題

(1) 合同セミナーの評価について

(2) 学生の奨学金について

(3) 今年度の運営結果について

(4) 学生の渡日時期について

(5) 学位論文の様式および申請スケジュールについて

(6) JDPを核とした研究・教育の国際連携について

(7) 持続的な学生確保に向けた活動について

(8) 自己点検・評価報告書について

(9) その他

◇参加者：筑波大学7名、マレーシア日本国際工科院7名

■会議名：第1回指導教員会議

◇日時：平成31年2月22日（金）15:00～

◇場所：マレーシア日本国際工科院（対面会議）

◇議題：

(1) 修士論文研究について

(2) その他

◇参加者：筑波大学2名、マレーシア日本国際工科院2名

■会議名：第9回国際連携専攻運営委員会

◇平成31年3月上旬、電子メール等による協議、連絡調整、  
情報共有

◇議題：

(1) 国際連携共同教育プログラム（AUN Seed-Net）採択

(2) その他

◇参加者：筑波大学15名、マレーシア日本国際工科院5名

■会議名：第10回国際連携専攻運営委員会

◇平成31年3月下旬、電子メール等による協議、連絡調整、  
情報共有

◇議題：

(1) 履修状況の確認

(2) マレーシア日本国際工科院ホームの入試日程に  
ついて

(3) その他

◇参加者：筑波大学5名、マレーシア日本国際工科院6名

■会議名：第3回コアメンバー会議

◇日時：平成31年3月25日（月）8:30～

◇場所：筑波大学、マレーシア日本国際工科院（遠隔地会  
議システム）

◇議題：

(1) 国際連携共同教育プログラム（AUN Seed-Net）実施

(2) その他

◇参加者：筑波大学3名、マレーシア日本国際工科院3名

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）

及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

・ 大学設置基準第51条2項に規定されている携外国大学との「協議の場」について、実施状況

（開催日・議題等）を記載してください。

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

本学とマレーシア日本国際工科院との協定書（3.2項）に基づき、両大学合同による国際連携専攻運営委員会を置き、プログラム遂行全般に責任を持つ体制を整えている。教育の質の向上に関しては、コアメンバー会議及びプログラム点検・評価委員会が中心となっていく。（協定書及び体制図を添付（添付資料①-1,2及び②））

また、学内においては、本学大学院学則等に基づき「生命環境科学研究科の教育に関する細則」（第8条）においてFDの実施について定め、研究科運営委員会及び専攻教育会議において、FD活動を含む専攻の教育、研究指導、運営全般について審議等を行う体制を整えている。（関係細則を添付（添付資料③～⑤））

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

##### ○国際連携専攻運営委員会（両大学合同）

- ・開催状況：3回の対面会議（H30.6.11、H30.9.21、H31.2.21）のほか電子メール等を活用
- ・出席者：両大学のプログラム責任者及び調整担当教員はじめ関係教職員

##### ○国際連携専攻コアメンバー会議（両大学合同）

- ・開催状況：2回の対面会議（H30.7.23、H30.11.21）のほか遠隔地会議システムや電子メール等を活用
- ・出席者：調整担当教員はじめ関係教職員

##### ○研究科運営委員会（筑波大学）

- ・開催状況：原則毎月開催
- ・出席者：生命環境科学研究科の研究科長及び専攻長等

##### ○専攻教育会議／運営委員会（筑波大学）

- ・開催状況：原則毎月開催（母体である環境科学専攻の教育会議／運営委員会と合同で開催）
- ・出席者：国際連携持続環境科学専攻の専任教員及び環境科学専攻の専任教員

#### c 委員会の審議事項等

##### ○国際連携専攻運営委員会（両大学合同）

- (1) 入学者選抜に関する事項
- (2) 学生の身分（在籍の管理）及び安全に関する事項
- (3) 学生への経済支援及びホスト大学での学生生活に関する事項
- (4) カリキュラムの実施に関する事項
- (5) 主指導教員及び副指導教員の選定に関する事項
- (6) 学位授与及び課程修了に関する事項
- (7) 教育研究活動等の状況と改善に関する事項
- (8) その他両大学が必要と認めた事項

##### ○研究科運営委員会及び専攻教育会議

専攻運営に関わる事項全般（FD活動を含む）

### ② 実施状況

#### a 実施内容

- ・国際連携専攻運営委員会における情報共有・意見交換
- ・両大学の教員の相互理解を促進するための研究セミナーの開催
- ・授業改善等に関するFD研修会の開催
- ・全学的なFD/SD研修会・ワークショップへの参加及び情報共有

#### b 実施方法

- ・両大学で実施するものについては、遠隔地会議システムの利用または訪問、招聘により実施
- ・本学で実施するものについては、講師を招聘し大学内で開催

#### c 開催状況（教員の参加状況含む）

##### ○国際連携専攻運営委員会における情報共有・意見交換

- ・開催状況：3回の対面会議（H30.6.11、H30.9.21、H31.2.21）のほか電子メール等を活用
- ・出席者：両大学のプログラム責任者及び調整担当教員はじめ関係教職員

##### ○マレーシアにおける環境科学・工学、環境政策の現状の理解や両大学教員の研究内容の相互理解を促進するための研究セミナー（コアメンバー会議主催）

- ・H30.9.21（参加者22名）
- ・H30.9.22（参加者46名）
- ・H30.11.8（参加者14名）
- ・H30.11.12（参加者12名）

○生命環境科学研究科におけるFD研修会等

- ・教員のグローバル化を推進するための英語の授業方法について、オンラインによるFDセミナーを開催。反転授業やアクティブラーニングなどをテーマとし、参加者に対して、1年間の契約期間中にビデオ教材視聴、課題提出、インストラクターによるオンライン個別指導等の研修を実施した。

・H30.11.27 情報セキュリティセミナー

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

国際連携専攻運営委員会や、コアメンバー会議、研究セミナーでの意見交換・情報共有、第1期生と平成30年9月入学の第2期生の学修状況等を踏まえて、今後の指導内容・方法や次年度入学者に向けた改善の検討を行った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

マレーシア日本国際工科院において、学期末に学生による授業アンケート及び授業の評点を行った。筑波大学においては、母体専攻である環境科学専攻と合同により授業アンケートを実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケート結果を踏まえて、教員は次学期以降の改善点について国際連携専攻運営委員会に報告する。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本国際連携専攻の設置の趣旨・目的や教育課程等について、あらためて両大学関係者の認識の共有・理解に基づき、今年度は、6月、9月、2月に対面又はTV会議システムによる運営委員会を開催したほか、電子メール等による協議、連絡調整、情報共有を日常的に行った。加えて、必要に応じて、対面と遠隔地会議システムによるコアメンバー会議を実施し、両大学が緊密に連携して専攻を運営している。

持続的な学生確保に向けて、両国の国内外に向けて様々な取り組みの実施を計画し、実行した。本国際連携専攻の教員による研究セミナーや本国際連携専攻の必修科目「合同セミナー」を核とした国際連携教育・研究プログラムの計画・実施、サクラサイエンスプラン（JST）Asia-Pacific Association for International Education (APAIE) や AUN Seed-Net Collaboration Education Program (CPE) を通じたレピュテーションの向上を図った。

平成30年2月21日および22日にマレーシア日本国際工科院において両大学合同で実施した「合同セミナー」に、将来、国際連携専攻に入学する可能性のある学部学生を選抜の上、12名を同行させ、マレーシア日本国際工科院とマレーシア工科大学の学部学生にも強く参加を促し、12名が参加し、本国際連携専攻の周知を行った。この際に、本学およびマレーシア日本国際工科院、マレーシア工科大学の大学院生も参加させ、教育効果の向上および本専攻から他専攻への教育波及効果を図った。加えて、今年度は、国際的な知名度向上も企図し、台湾の国立成功大学の准教授1名、院生1名が参加した。さらに、9月と11月に実施した研究セミナーにより、マレーシアにおける環境科学・工学、環境政策の現状の理解や両大学教員の研究内容の相互理解を促進させた。

2月の対面会議による運営委員会では、平成29年度の運営や学生募集についての意見交換および改善点について議論した。また、平成31年度には、マレーシア日本国際工科院ホーム学生の第一期生の修了が見込まれているため、修了に関わるスケジュール、申請書類の様式について明確にした。

平成31年度には、筑波大学をホームとする学生が学修を開始するとともに、平成30年9月に入学したマレーシア日本国際工科院をホームとする学生が筑波大学での学修を開始する。引き続き、本専攻の設置の趣旨・目的の達成に向けて、設置計画に基づき着実に専攻の運営を行う。

本専攻では、自己点検・評価を毎年度実施し、専攻設置の3年後に外部評価を行うこととしている。第2回の自己点検・評価は、令和元年秋頃に行う予定である。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

- ・平成30年2月に自己点検・評価を行い、結果を担当教員・関係者において共有するとともに公表した。
- ・開設3年後の令和2年度中に外部評価を行い、その結果を速やかに公表する。

##### b 公表方法

- ・大学ホームページ上で公表

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成29年度に大学改革支援・学位授与機構による機関別認証評価を受け、「大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、大学改革支援・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしている」との結果を得た。
- ・次回は令和6年度までに受審する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

- a ホームページへの公表予定の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表有の場合の公表（予定）時期 ( 令和2年 3月 日 )
- b 公表無の場合の特段の理由 ( )

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。